

築川ダム事業報告会

(開催日時) 平成 23 年 10 月 21 日 (金) 19:00~20:15

(開催場所) 盛岡市中野地区活動センター

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 築川ダムの検証内容及び結果について
 - (2) 今後のダム事業のスケジュールについて
- 4 質疑
- 5 閉会

出席者 10 名

報道機関 1 社

1 開会

〈事務局 築川ダム建設事務所和村次長から開会宣言〉

2 あいさつ

○ 横山築川ダム建設事務所長

築川ダム建設事務所の所長をしております横山と申します。今日はお忙し中、このようにお集まりいただきありがとうございます。また、日頃からダム事業に対して高いご理解をいただいている事に、この場を借りて御礼申し上げます。さて、今日ご案内しました築川ダム事業報告会ですが、報告事項にもありますが築川ダムの検証内容及び結果について、皆さまの前に本日、ご報告したいということで開催したところです。ご承知の方もいらっしゃるかと思います。一昨年政権交代が行われ、その際に治水事業について、出来るだけダムに頼らない治水にしようという政策転換の方針が打ち出されたところです。こういった事の背景というのは、日本の現状がよく言われる、人口減少の進展、あるいは急激な少子高齢化が進んでいるということ、さらには国の財政が膨大な財源赤字になっている状況がございます。そういったことを踏まえて、国ではこれまでの公共事業依存型の社会から、皆さんから集められた税金の使い方を大きく変えていこうということがいわれているところです。こういったことを踏まえて治水事業について、例えば国が事業を行っております、熊本県の川辺川ダム、群馬県の八ッ場ダムについては中止しようという方針が出されたところでございます。

また、それと合わせて国と都道府県が進めているダム事業についても、まだ本体工事にかかっていないダムについては、一定の検証を進めて、その中で検討していこうという国の動きがございました。正式には昨年の9月末に国から都道府県知事にダム検証の要請が出たところで、それを受けて県では早速作業にかかったわけですが、検証にあたりましては、国が示した検証の進め方というものが出されましたので、これに則り作業を進めてきました。その作業の中では、地域住民の方々から直接意見をいただくとか、関係市町の方々の意見をいただくとか、又はパブリックコメントというような形で皆さま方から意見をいただいて、その結果、今まで検討してきたダム事業をそのまま継続しようという県の方針

を打ち出しました。本当は昨年度中に報告したかったのですが、ご存じのとおり大きな地震被害がありまして、その内容については、今年の4月に国の方に報告したところでございます。国では報告事項について、国で持っている有識者会議で審議し、8月12日に国から通知があり、検証内容については妥当性を認めていただき、今後の補助金を継続するという答えをいただいております。つまり言い換えれば、今後も事業を継続していこうという内容でした。本日は、そういった内容について、このあと担当から詳細についてご説明させていただきます。また、それと合わせて、築川ダムの実業内容、今後のスケジュール等についてご説明させていただきたいと考えております。

限られた時間ではございますが、質疑の時間も多とってございますので、出来るだけ私どもが手がけている築川ダム建設事業についてご理解を深めていただける場になればいいのかという風に考えているところでございます。本日はよろしく申し上げます。

3 報告事項

<事務局からパワーポイント及び配布資料により（1）築川ダムの検証内容及び結果について（2）今後のダム事業のスケジュールについて 説明>

4 質疑

○ 参加者① 今の資料を頂けないでしょうか、主要な部分だけで結構なんです、町内に持ち帰って説明するために。

○ 事務局 お名前とご住所を教えてくださいまして。

○ 参加者① ■■■■■の■■■です。よろしく申し上げます。

○ 参加者② ■■■ともうします。私は、ダムは作っていいと思います。ダムの計画に反対している人達は何がダメで反対しているのですか。実際、今のこれを見ても完璧、ダム。一番、治水効果、予算が少なく、もちろん、そこに住んでいる方の犠牲のもとにある貴重なダムなのだけれども。とりあえず計画をみると予算から、全部よさそうなのですが、何か他に何かがあるからダムを止めろといっているのか、それともダムそのものよりももっとよいものがあるからダムを止めろといっているのか、政権が変わってからも、他の県でも色々見直しとか色々なことがあるのだけれども。

あと、もう一つは、家を建てるときも、6ヶ月後に完成します、1年後に完成しますとかという目安があって、計画立ててOKとやるわけなんです。

今、ここでの計画があって、あと10年。普通、この規模のダムをつくるのであれば、がんばって、がんばって、何年できるのか？突貫工事、例えば、20年でできる。この計画が立ち上がったのはいつなのでしょうね。最初の計画。最初の計画がたちあって、さあ、がんばろうというのであれば、もうその期間は過ぎているのではないのでしょうか？だから、私はだらだらだと、長くずっとやっているのは人件費もかかるし全然進まない。

それだったら、がんばって、ぱっとやればと思うのですが。長いことやって、予算を使って無駄使いをしているのではないかと思うのですが、どうなのでしょう。

○ 事務局 最初に反対されている方の考え方ですが、私が聞いている限りでは、まず、1点目が環境の問題です。特にダムは貯水池ができれば改変面積が大きい。根田茂は無く

したくない風景だということで反対している。2点目は事業費が高い。530億ということでもっと違った考え方で安くできる方策があるのではないかということです。3点目は、ダムをやめて先ほど説明した14年7月に崩れたところの堤防を強化すれば大丈夫なんじゃないか、ダムはいらないじゃないかということを知ったことがあります。それと、今、780 t/m³という計画を持っているのですが、計算手法が過大ではないのか、もしかしたらもっと低くていいのではないかとおっしゃられておりますけれども、私たちは、国の基準に沿った形でこういう計画を立案しています。あと、ダムが長い年月かかるということで、築川ダムには、当初、かんがいや発電が参画していたのですが、撤退がありまして計画の見直しをしております。国庫補助事業は平成4年から続けてきたのですが、現状では計画変更はないだろうと考えており、あと10年で工事は終了するというので工事を進めています。

○ 参加者② 何を言っているのかと言われるかもしれないのですが、わたし、小学校の昭和30年代、川目のところの橋もぼたやまの橋も、みな土の橋や木の橋が流されたのも知っていますし、土地の方も水浸しになったのを知っているので、やはり自然というは、今回の津波も、やはり自然を侮ってはいけけないではないか。と思いますし、逆に、先の、ダムの私は洪水のことしか頭になかったが、かんばつになって、干されて、みんななくなったときの利用だとか、色々なことがあって色々考えて、やはり修正いただいているのだと改めて勉強しましたし、やはり、つくるときは、ぱっと作って、ぱっと早くというそのあたりが一番、私は問題ではないかと思います。色々な意見があったかと思しますので、今日は勉強になりました。

○ 参加者③ さきほど、河川改修というのが何回もでてきましたが、もう少し具体的にどこからどの辺までを改修するのか、無論、計画はあると思いますが、私どもの町内会はどこかと、そういう風な細かい所を教えていただかないと漠然としかわからない。先ほど、 町内会の会長さんがおっしゃったとおり、何の説明も町内に持ち帰ってできない。その辺をもう少し詳しくわかる資料があれば良いと思います。

○ 事務局 それでは、補足ですが、今、ダム+河川改修の絵をお見せしています。ダムの他に河川改修がどこに必要なかということで、具体的に言いますと、まず、下流から流下能力が足りないのが、自動車学校の前、14年に崩れたときの対岸。上流に行きまして、流下能力が足りないのがモーターがある付近、河川漁業組合さんがある下川目のあたりが流下能力がたりないので、ダムの完成に合わせて工事を行って行きたいとしております。具体的なことについては、また、お届けしたいと考えています。

○ 参加者④ 当初、花巻かかなり遠いところまで水を運ぶのだという計画があって、今は、当初計画がどういう計画で、今はどのように修正されてきたのかということを知りたいと思いますが、発電も含めて。

○ 事務局 当初の計画は、水道用水と発電とかんがいが入っていました。かんがいというのは花巻の豊沢の方で水が必要だということで、当初は、築川で補給して、それを流して北上川で取水するという計画でした。発電は企業局、水道は盛岡市と矢巾町が参加していました。企業局については、電力の売電単価が電力さんと折り合いがつかなかったとい

うことで撤退。かんがいについては、農地が宅地化したということで築川から補給する必要がなくなったということで撤退したと伺っております。水道用水については、盛岡市、矢巾町とも水需要の計画を見直したことによって減量したと。それで、ダムは当初、86mぐらいの高さだったのですけれども、現段階では77.2mになった次第でございます。

○ 参加者② ダムができる前に道路が開通して開放するのですか。あと、盛岡の四十四田ダムと綱取ダムをつくって不都合なことがあるのかメリットのほうが多いのか。私はメリットが大きいしか聞えないのだけれど、私、その土地を提供していただいた方には申し訳ない。それは置いといて。

○ 事務局 デメリットは気づきませんが、メリットとすれば、平成19年に結構、大きな洪水が盛岡であったのですけれども、四十四田とか御所とか、盛岡周辺のダムが洪水を調整して大きい災害にならなかったということで、改めて、ダムの効果を検証できたのではないかと考えております。

○ 参加者② だから、私は予算のことは別にしてダムをつくることは賛成です。

○ 参加者⑤ 今回、案内がありまして参加しましたけれども、この説明会はここだけで、何箇所か予定しているうちの1箇所ですか。

○ 事務局 今日の説明会は、広報もりおかで盛岡市の方にご案内したところです。流域の人だけではなくダムを建設する盛岡市の市民の方々に築川ダムについて理解していただきたいということで広報しております。今後もダム事業について、皆さんわからない点がよくあるかと思しますのでこういう機会を増やしてなんとかダムにご理解をいただきたいなということで進めていきたいと考えています。

○ 参加者② 私、今回、何日か前の回覧板でこの説明会を知ったんです。今まで、こういうふうな話があったのかもしれないけれども、全く見てなかったし、今回、あーと、思って来たんですが、町内会長さんが説明するといっても、やはり、ご面倒かけるけれども、何回も町内会長さん来てくれと言われたら、行って、これは説明しなければわかってもらえない。非常に良い話だし、地区で要望があったときは、一人行って説明して、それを何回も繰り返すのが一番よいのではないのでしょうか？

○ 事務局 今日は、こちらの方で機会を設けて説明しましたが、皆さんの方で希望があればいつでも対応しますので事務所の方に連絡ください。

また、本日の資料が御必要でしたならば、最後にご住所と氏名を教えてください。

5 閉会

〈事務局 築川ダム建設事務所和村次長から閉会宣言〉